

児童室だより No. 71(2010. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>「絵本日本女性史」1 原始・古代・中世</p> <p>野村育世文 石井勉絵 大月書店 2010.1 【小高】</p>	<p>全3巻シリーズの1巻目。貧富や身分の差がなく男女が助け合い暮らしていた縄文時代から、南北朝戦乱の世までの女性の地位や結婚の形の変化、女性に関する主な出来事などを紹介している。縄文土器を作ったのは女性、男女の身分差を決定的にしたのは、中国から取り入れた律令制度だったなど、興味深い事実を知ることができる。</p> <p>(J367-エホ-1109823891)</p>
<p>「地球最北に生きる日本人」 イヌイト大島育雄との旅</p> <p>武田剛著 フレーベル 2009.12 【小高】</p>	<p>「北極にある氷の島、グリーンランドがとけている」という話をきき、不安になった著者が、現場を取材するために、地球最北の村でイヌイトとして暮らす日本人、大島育雄さんを訪ねて取材した。以前は1年のうち9ヶ月間は犬ぞりで移動することができたのに、今では4ヶ月間だけ。子どもたちも氷が割れておぼれないように、凍った海では遊ばなくなったという。地球温暖化がみじかな問題と実感させられる。</p> <p>(J382-タケ-1109811611)</p>
<p>「野生動物のお医者さん」</p> <p>齋藤慶輔著 講談社 2009.12 【小中】</p>	<p>獣医師の齋藤さんは、釧路湿原の野生生物保護センターでオオワシやシマフクロウなど、絶滅のおそれのある鳥たちを治療している。人間の活動によって傷ついたり命を落したりするものも多く、その状態を調べて原因を探り、関係する人々や機関に対策を提案している。野生動物を治療する仕事のゴールは野生動物を野生にかえすこと。野生動物の現状や問題点を紹介する。</p> <p>(J488-サイ-1109799624)</p>
<p>「すみ鬼にげた」</p> <p>岩城範枝作 村松公嗣絵 福音館書店 2009.11 【小中～小高】</p>	<p>今から300年あまり前のこと、大工見習いの少年ヤスは、寺で修理の仕事を手伝っていた。ある日、泣き声にさざわれて、お堂の屋根に登ると、小さな鬼が正座して屋根のすみ木を支えながら泣いていた。唐から日本へわたる船に乗り込んだのをお坊さんに見つかり、小さくされて900年間も「すみ鬼」として屋根にすえつけられているという。行きたい所があるのではずしてくれと鬼にたのまれたヤスは…。</p> <p>(J913-イワ-1109784695)</p>
<p>「つづきの図書館」</p> <p>柏葉幸子作 山本容子絵 講談社 2010.1 【小高】</p>	<p>顔も覚えていないおばさんの介護に呼ばれ、生まれ故郷にやってきた桃さん。断るつもりがおばさんの家で暮らすことになり、しかも職員は館長と2人だけというちっぽけな図書館で司書として働くことになった。その図書館ではなぜかみんな長続きしないときいていたが、そのわけはすぐにわかった。桃さんが本を並べていると、目の前にはだかの王様が現れて、以前本を借りていった青田早苗ちゃんのその後が気になるから、なんとか探してくれと頼んできたのだ。</p> <p>(J913-カシ-1109819182)</p>
<p>「とっておきの詩」</p> <p>村上しいこ作 市居みか絵 PHP研究所 2009.11 【小低】</p>	<p>ふゆやすみに詩をかく宿題がだされた。文集をつくるらしい。やすみにはいってずっとかんがえてたけど、ちょっともいい詩が思いうかばない。かあちゃんのおしりについて書いた詩は、けっこうおもしろいと思ったのに、ええことないってボツになったし。もっとまともなんかけんのかって言われても…。いよいよふゆやすみさいごの日、いい詩、できるかな。</p> <p>(J913-ムラ-1109793738)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="188 248 676 286">「ジェイとレイふたりはひとり!？」</p> <p data-bbox="288 342 576 477"> アンドリュー・クレメンツ著 田中奈津子訳 講談社 2010.1 【小中】 </p>	<p data-bbox="708 226 1430 454"> ジェイとレイは見た目がそっくりなふたごの兄弟。両親の転勤で引っ越してきたばかり。転校初日、レイが病気になり、ジェイはひとりで登校した。出欠をとるとき、ジェイの名前は呼ばれたが、レイの名前は呼ばれなかった。変だなと思ったジェイは名簿をのぞいてみたが、レイの名前は見当たらない。いつも間違えられたりふたごの片方というあつかいに、うんざりしていたジェイは、ふたごということをおかしく、レイと交替で学校へいくことを思いつく。 </p> <p data-bbox="1166 483 1426 510">(J933-クレ-1109823962)</p>
<p data-bbox="256 577 608 616">「ピーターと象と魔術師」</p> <p data-bbox="248 689 616 790"> ケイト・ディカミロ作 長友恵子訳 岩波書店 2009.11 【小高】 </p>	<p data-bbox="708 539 1430 768"> 19世紀の終わりごろ、バルティーズという町に住む10歳の孤児ピーターは、占い師のテントを見つけた。妹が本当に死んだのかどうか疑問に思っていたピーターは、どうしても真実が知りたいと、迷いつつも占ってもらった。すると、妹は生きていて象が妹のいる場所へつれていってくれるという。この町には象などいないが、この夜偶然にもオペラ座の舞台上、魔術師がおどろくべき魔術を演じ、象をだしたのだ。 </p> <p data-bbox="1166 797 1426 824">(J933-テイ-1109792436)</p>